

多良木町

2017
町勢要覧

歴史とロマンの里

たらぎまち



Contents

多良木町イラストマップ	2
日本遺産	4
多良木の良かところ（観光）	8
多良木の良か品（特産品）	10
多良木町の四季	12
農業	16
林業	17
商工業	18
消防・防災	19
子育て	20
保健・福祉	21
学校教育	22
社会教育	23
行政	24
議会	25
主な施設	26
資料編	

発刊にあたって



多良木町長
吉瀬 浩一郎

多良木町は、熊本県の南部に位置し九州山地の脊梁に囲まれた美しい自然の中にあります。日本三急流のひとつ球磨川を挟んで息づく豊かな森と里山、豊富にあふれる水と清廉な空気、点在する歴史的史跡（文化庁創設第1回日本遺産認定）に恵まれ、名のある多くの史跡が幾度かの改修を経て、ほぼ当時のままのかたちで残されています。中世と現代が時空を超えて交差する場所として探訪の過程で「静寂・枯淡」の風情を体感することができます。

多良木町は、明治以来大きな自然災害もなく「安心・安全な町」として、つとに知られた場所です。町内全域には光ブロードバンドが整備され上下水道などの生活環境も充実しております。平成28年は町を流れる「幸野溝」と「百太郎溝」が世界かんがい施設遺産として登録されました。

人口減少社会の中にあり、いかにすれば人が集まる魅力的な町づくりができるのか、今、私たちはこの町で育まれた相良氏の歴史と伝統を受け継ぐ日本遺産を活用し「喜びと感動に満ちた」若い人を呼び込める町として生まれ変わることを目標としています。

ぜひ美しい多良木町をご訪問いただき町の魅力を実感していただきたいと思います。



表紙写真と同じ場所からの眺望

地勢

本町の位置は、東経130度56分18秒、北緯32度15分38秒、標高160・51メートル、東西21・0キロメートルで熊本県の南部、球磨郡の東部にあり、東西21km、南北22・8km、中央部は平坦地で、南部と北部は九州山脈の支脈を形成する森林におおわれており、面積は165・86km²、人口は約9,800人となっています。

産業は農林業が主で米、メロン、葉タバコ、野菜、果樹等が栽培され、畜産、酪農等が行われています。

本町の約80%は山林原野で檜、杉などの良材を産出しています。工業は自動車関連部品、軽電機、製材、木製品、焼酎、食料品などの製造加工の工場があります。商業は国道219号線沿いに商店街があり、5つの金融機関をはじめ飲食店や小売店が多くなっています。

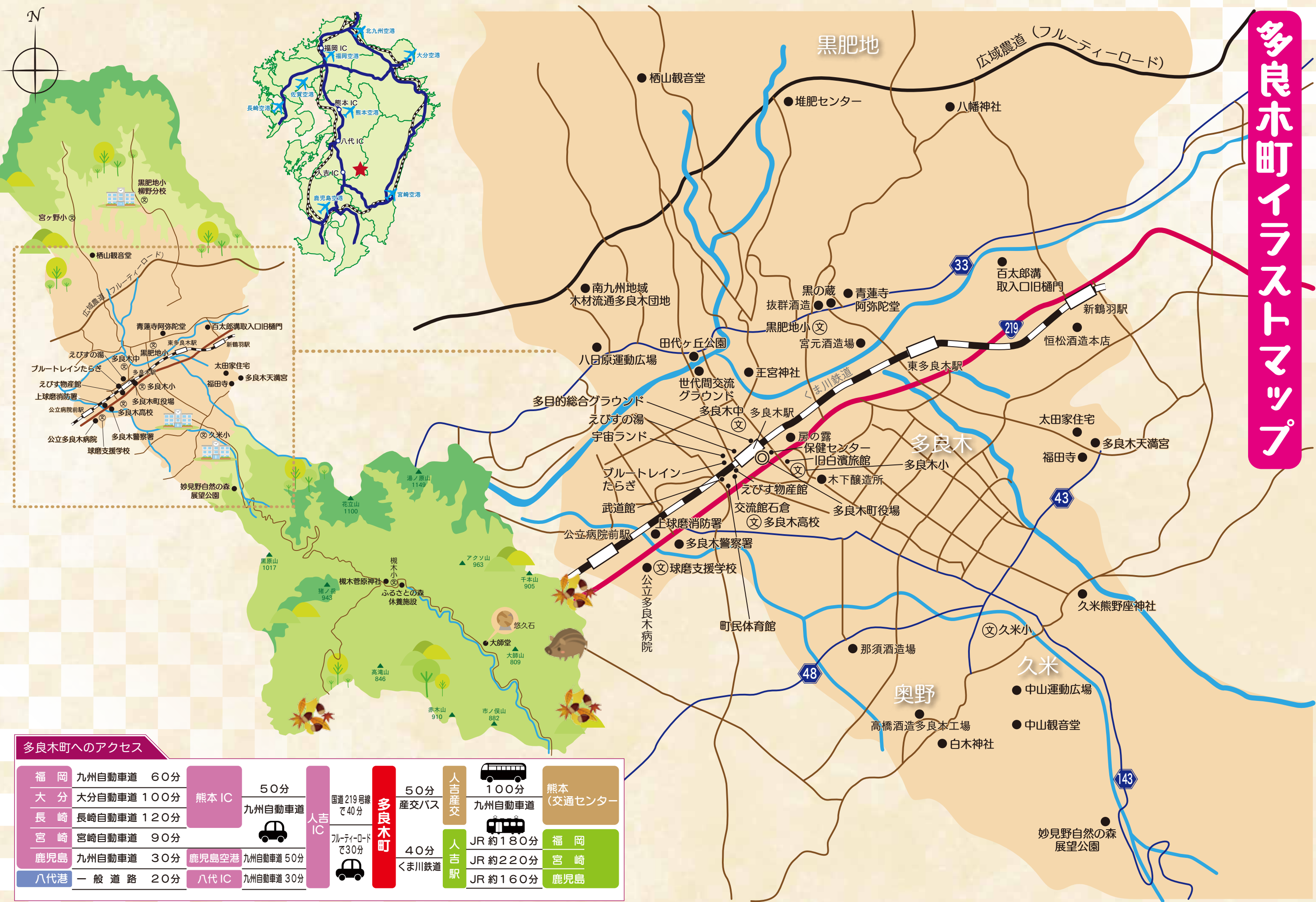
沿革

多良木町は、旧石器時代の遺物や縄文・弥生時代の遺物が数多く出土し、この地が古くから開発されてきたことがわかります。平安時代中期に作られた辞書「和名類聚抄（わみょうるいじゆしょう）」には、球磨郡に六つの郷があり、この内の東村郷・久米郷が多良木町内にあったとされていますが、多良木の地名が歴史の上に現れるのは、鎌倉時代以降になります。

多良木町が属する人吉球磨地方は、鎌倉時代、遠江国の武士である相良氏が多良木を領知してから明治維新までの約700年もの長きにわたり治めた全国でも珍しい地域で、相良氏に関わる多くの遺跡があり、多良木は相良家発展の足掛かりとなった土地です。

明治4年の廃藩置県後、幾多の改廃を経て明治22年市町村制施行により多良木村、黒肥地村、久米村が発足しました。大正15年5月1日に多良木村が町制を施行し、昭和30年4月1日町村合併促進法により、多良木町、黒肥地村、久米村が合併し現在に至っています。

多良木町イラストマップ



多良木町へのアクセス

福岡	九州自動車道	60分	熊本 IC	50分	九州自動車道	人吉 IC	50分	産交バス	人吉 産交		100分	九州自動車道	熊本 (交通センター)	
大分	大分自動車道	100分												
長崎	長崎自動車道	120分												
宮崎	宮崎自動車道	90分												
鹿児島	九州自動車道	30分	鹿児島空港	九州自動車道	50分									
八代港	一般道路	20分	八代 IC	九州自動車道	30分									
多良木町														
国道 219 号線 で 40 分														
フルティーロード で 30 分														
40 分														
くま川鉄道														
人吉 駅														
JR 約 180 分														
JR 約 220 分														
JR 約 160 分														
福岡														
宮崎														
鹿児島														

相良三十三観音めぐり

人吉藩家老井口氏により藩内に三十三観音が選定、ご詠歌が作られて以後、各札所は地域住民の精神的な拠り所として信仰を集め続けています。

三十三観音のうち本町では「栖山観音」と「中山観音」が選ばれています。



県指定重要文化財 栖山千手観音

二十三番札所 木造千手観音立像及び四天王立像

栖山の観音堂に安置された千手観音像は、平安時代後期に作られた身長が 283cm もある大きな観音像で、11 面 42 臂（11 の顔、42 の手）の姿をしています。



県指定重要文化財 王宮神社楼門

応永 23 年（1416）相良頼久の建立と伝えられ、熊本県最古の唐様の楼門として貴重な遺構です。



県指定重要文化財 中山聖観音

二十八番札所 木造観世菩薩立像及び四天王像

観音像は、平安時代前期の製作と推定され、当地方最古の仏像です。



県指定／町指定無形文化財 白太鼓踊り

相良氏による武道奨励・士気鼓舞を目的に始められたとされる踊りで、源平合戦を再現したものと伝えられ、長く伝承されてきました。

現在、町内には県指定として 3 地区、町指定として 5 地区、合わせて 8 つの地区で指定されています。



球磨神楽

相良氏の厚い保護を受けた神楽の見物は民衆の娯楽でもありました。現在は、町内の各神社の秋季例大祭の前夜祭に奉納されています。



町指定文化財 久米治頼神社

当主に反乱を起こし滅ぼされた相良治頼とその母を供養するため、永禄 9 年（1566）に建立されました。



県指定重要文化財 弘法大師坐像

郡内における民衆の大師信仰の広まりを受け、室町時代前期に相良氏を願主として造られました。



国指定重要文化財 木造阿弥陀如来及び両脇侍立像

青蓮寺阿弥陀堂の内陣に安置されるこれらの仏像は阿弥陀堂創建と同時に京都の院玄という仏師によって作られた美術的にも大変すぐれた彫刻です。



国指定重要文化財 青蓮寺阿弥陀堂

上相良三代頼宗が永仁 3 年（1295）に初代頼景公菩提のため、黒肥地の亀田山に創建したと伝えられます。鎌倉時代以降の多良木相良氏代々の菩提寺で、民衆の信仰を集めました。郡内に残る中世的な景観をしのばせる代表的な場所の一つです。



相良700年が生んだ保守と進取の文化

「日本でもっとも豊かな隠れ里 人吉球磨」



球磨川

日本三急流のひとつとして数えられる球磨川は、相良氏によって交通や物資輸送のために活用されました。また、百太郎溝・幸野溝はこの球磨川の水を取り入れており、当時から現代まで人吉球磨の農業をはじめとする生活・文化を支える礎です。

人吉球磨の日本遺産ストーリー

人吉球磨の領主相良氏は、急峻な九州山地に囲まれた地の利を生かして外敵の侵入を拒み、日本史上稀な「相良700年」と称される長きにわたる統治を行いました。

その中で領主から民衆までが一体となったまちづくりの精神が形成され、社寺や仏像群、神楽等とともに信仰し、楽しみ、守る文化が育まれました。同時に進取の精神をもってしたたかに外来の文化を吸収し、独自の食文化や遊戯、交通網が整えられました。

保守と進取、双方の精神から昇華された文化の証が集中して現存している地域は他になく、日本文化の縮図を今に見ることが出来る地域であり、司馬遼太郎はこの地を「日本でもっとも豊かな隠れ里」と記しています。



多良木相良氏関連史跡群

相良氏が鎌倉時代に領知した後、地域開発の拠点であった館跡と開削した灌漑用水をはじめとする相良氏に関する史跡です。

左の写真は、県指定重要文化財の青蓮寺古塔碑群です。相良氏一族の供養塔や住職の墓石が並びます。

平成28年11月、幸野溝・百太郎溝水路群が世界かんがい施設遺産に登録されました！



町指定文化財 百太郎溝取入口旧樋門

百太郎溝は多良木町から錦町までを通水する灌漑用水路です。原野の水田開発が可能となり、人吉藩の農業生産が大きく向上しました。



国指定重要文化財 太田家住宅

太田家の先祖は、鎌倉時代、相良氏にともなって人吉球磨地域に入った武士と言われています。現在の建物は、江戸後期に博多の大工によって建てられたと伝わる築150年以上のものです。寄棟造りで茅葺き屋根を2ヶ所で折り曲げた「二鈎」と呼ばれている外観をしています。幕末には農業のかたわら、焼酎製造を行っていたと米びつの墨書きによって判明しています。



球磨拳

じゃんけん遊びのルーツとも考えられている人吉球磨地域の拳遊び。0から5までの形を手でつくり勝敗を競うもの。数字がひとつ多い方が勝ちになります。参勤交代の際に武士が球磨拳で遊んでいた、と伝えられます。負けたら焼酎を飲むルールのため焼酎飲みたさにわざと負ける人もいたとか。今も酒席でかかせない遊びです。



球磨焼酎

江戸時代ではとても貴重とされていた米を主原料に作られる球磨焼酎。相良氏によってその醸造が認められ、藩主はもとより庶民にいたるまで、広く飲まれていました。スコッチウイスキー、ボルドーワインなどと同様に地名を冠にできるお酒として世界貿易機構(WTO)から認められています。

「ガラ」と「チョク」

球磨人吉地方だけで使用されている酒器で、フラスコの胴に長い注ぎ口を付けたような酒器が「ガラ」、猪口「チョク」は清酒の杯より小さく、口が開いていません。



球磨焼酎の定義

米のみを原料として人吉球磨の地下水で仕込んだもろみを人吉球磨で蒸留し、瓶詰めした焼酎だけを「球磨焼酎」と呼ぶことができます。

農 家 民 宿



くま川遊農乃館
【代表者】 深水 良子
 多良木町大字多良木 4901-1
 電話 /FAX 0966-42-4128
 携帯電話 090-5483-5884
【チェックイン】 17:00 **【チェックアウト】** 10:00
【料金】 一泊朝食付き / 大人 4,500 円、
 小人 3,000 円 (3 歳～小学生)
 一泊朝夕食付き 6,000 円
 素泊まり 3,000 円
【部屋数】 和室 2 部屋 8 人まで



源ちゃんファーム
【代表者】 源嶋たまみ
 多良木町大字多良木 740
 電話 0966-42-5443
【チェックイン】 15:00
【チェックアウト】 10:00
【料金】 一泊朝食付き / 大人 4,500 円、
 小人 3,000 円 (3 歳～小学生)
 一泊朝夕食付き 6,000 円
 素泊まり 3,000 円
【部屋数】 和室 2 部屋 8 人まで



ゆうがの杜
【代表者】 宮本 裕子
 多良木町大字久米 2048-1
 電話 0966-42-5223
 携帯電話 090-5726-0806
【チェックイン】 17:00 **【チェックアウト】** 10:00
【料金】 一泊朝食付き / 大人 4,500 円、
 小人 3,000 円 (3 歳～小学生)
 一泊朝夕食付き 6,000 円
 素泊まり 3,000 円
【部屋数】 和室 1 部屋 5 人まで



氏神の宿 古多丸
【代表者】 丸目 光晴
 多良木町大字多良木 4355
 携帯電話 080-3955-4148
【チェックイン】 15:00
【チェックアウト】 11:00
【料金】 一泊朝食付き / 大人 4,500 円、
 小人 3,000 円 (3 歳～小学生)
 一泊朝夕食付き 6,000 円
【部屋数】 洋室 2 部屋 8 人まで



とよのあかり
【代表者】 山並 勝志
 多良木町大字久米 237-1
 電話 0966-42-4717
 携帯電話 090-5729-2896
【チェックイン】 15:00 **【チェックアウト】** 10:00
【料金】 一泊朝食付き / 大人 5,000 円、
 小人 3,500 円 (3 歳～小学生)
 一泊朝夕食付き 大人 6,500 円、
 小人 4,500 円
【部屋数】 洋室 2 部屋 5 人まで



歴史・文化・自然科学の地域資源を保全し、
 有効活用することで、地域想像を目指すと共に
 経験価値を提供する施設です。
住所 多良木町大字黒肥地 4282
電話 0966-42-7520
利用時間 9:00～17:00 入館料 無料
休館日 月曜日(祝日・振替休日の場合は翌火
 曜日)および年末年始(12月28日～1月4日)



平成 18 年 7 月の豪雨により山腹斜面が崩壊
 し、その土砂の中から突如現れたもので、直径
 140 cm、重さ約 4 トンの巨大な丸石です。下槻
 木の御大師堂に鎮座しています。



サウナや露天風呂、楽しみながら健康づくり
 ができる歩行浴など設備が充実しており、また、
 湯上りには広々とした休憩室でくつろぐことが
 できます。
住所 多良木町大字多良木 1561
電 話 0966-49-1212
F A X 0966-49-1213
利用時間 10:00～22:00
入館料 大人 300 円、小人 200 円
休館日 毎月第 2 火曜日
 ※ただし、当該日が祝祭日の場合はその翌日と
 なります。



昭和 10 年前後に J A の前身である多良木町農業
 会により建築されたものを多良木町が購入、改築
 を行い、様々な交流イベントの拠点として広く利
 用されています。
住所 多良木町大字多良木 1543-1

利用申込みや利用料金は、ブルートレインたらぎ
 (電話: 0966-42-1120) へお問合せください。



スペースシャトルやロケットなどをモチーフに
 した遊具がたくさんあり、休日には多くの親子連
 れで賑わいます。多良木駅近くに設置されていま
 す。



寝台特急「はやぶさ」の車両を活用した簡易宿
 泊施設です。現役当時の趣が残り、格安な料金で
 レアな体験ができます。
 多良木駅に併設されており、アクセスに便利で
 す。観光の拠点としては是非ご利用ください。
住所 多良木町大字多良木 1534-2
電話 0966-42-1120
宿泊料金(税込) 大人 3,080 円 小人 2,050 円



妙見野自然の森展望公園に設置された「結の鐘」。
 鐘には「永遠に幸せでありますように」と文字が
 刻まれています。「絆の丘」と名付けられたこの地
 で大切な人と一緒に鐘を鳴らせば、きっと幸せが
 訪れることでしょう。

多良木の 良かところ

雄大な自然に囲まれた多良木町には見所もた
 くさん。歴史的価値のある石倉やブルートレイ
 ン、町のシンボルでもある「えべっさん」など、
 暖かい人のふれあいが生まれる心安らぐ場所が
 あります。

えびす像めぐり

町の活性化と地域振興を目的に「えべっさん」の愛称で親しまれているえびす様を町のシ
 ンボルにしようと、町内の各所にえびす像が設置されています。黄金に輝くえびす様や馬に
 乗っているえびす様など、町内にはたくさんのえびす様がいらっしゃいます。



多良木の良か品

米
清流球磨川が育んだ肥沃な土地では、美味しいお米が栽培されています。



球磨焼酎

米のみを原料として人吉球磨の地下水で仕込んだものを人吉球磨で蒸留し瓶詰めした焼酎だけを「球磨焼酎」と呼び、スコッチウイスキーやボルドーワインなどと同じく、地名を冠することが認められた世界的な銘酒です。人吉球磨には28の蔵元がありますが、そのうち多良木町には7軒の蔵元があります。



果樹・フルーツ

多良木町は、古くからメロンの産地としても知られ、プリンスやホームラン、アンデスなどが作られています。また、町内の北部台地では梨や桃が栽培されています。甘みとみずみずしい果肉、香りなど好評を得ています。



木工品

奥球磨の木材を使用した工芸品は、古くから伝えられているものです。木目の美しさを生かしてあり、暖かなぬくもりが感じられます。



ふるさと納税

高齢者や障がい者等の生活支援推進をはじめ、ふるさとの未来を担う子ども達の教育・子育て支援、森林などの自然環境保全、歴史・伝統文化の保存など、ふるさとを愛する皆様からのご寄附により、まちづくりを進めていこうと平成20年9月に「多良木町ふるさと応援寄附条例」を制定いたしました。

多良木町では1回の寄附額が1万円以上の方に、感謝の品として多良木町の特産品等を贈呈しています。

果物や加工品など、ここに紹介した品以外の美味しいものも沢山ご用意しております。



詳しくは、多良木町HPをご覧ください。



美味しいメロン
ができました！



球磨産和牛

人吉球磨盆地の美しい自然の中で、丹精込めて飼育された黒毛和牛です。美味しい水と肥沃な土地で育てられた地元産の和牛は、安心安全で風味が良く、口の中でとろけるような柔らかさです。



力強い夏の太陽が降り注ぐ中、大きな入道雲が空に浮かびます。キラキラとした暑い日差しの中、山の中を流れる川の水の冷たさに歓声を上げる子どもたちの声が山々に響き渡ります。



9月

たらぎ音楽祭

町民による手づくりの音楽祭としてバンドやクラシック、のど自慢など多彩なプログラムが行われます。



えびす夏祭り

奥球磨の真夏の夜の一大イベント。約3,000発の花火が夜空に大輪の花を咲かせます。また、盆踊り大会やお楽しみ抽選会なども行われます。



8月



芽吹きの中、色とりどりの花々が咲き始めます。妙見野に自生するウヅミズザクラは白い可憐な花を咲かせます。「真実の愛」の花言葉を持つこの花は、妙見野自然の森展望公園に設置した「結の鐘」のモチーフにもなっています。



5月

こどもの日イベント

えびすの湯や商店街では五月人形や手作り人形が飾られ、ファミリーパーク宇宙ランドでは鯉のぼりが大空を泳ぎます。また5月5日は中学生以下がえびすの湯に無料で入浴できます。



3月

えびす植木市

町商工会主催で行われるえびす植木市では、色とりどりの花苗や形良く剪定された植木、様々な苗木などが並び、春の訪れを感じさせます。



3月

ひなまつり散歩道

メイン会場の交流館石倉を中心に、えびすの湯、国指定重要文化財の太田家住宅等おひな様一色になります。笑美寿のひる会や生涯学習紙粘土教室をはじめ地元の方が手作りされた人形も豊かな表情を見せてくれます。

寒さ厳しい、
澄んだ空気

冬

凍てつく風が吹き出す頃、山々は静寂に包まれます。妙見野自然の森展望公園からは人吉球磨をすっぽりと包む幻想的な雲海が広がり、神秘的な景色を創り出します。



1月

奥球磨ロードレース

（公財）日本陸上競技連盟公認コース 奥球磨ロードレースには日本を代表するアスリートが出場します。



1月

多良木の焼酎を 楽しむイベント

町内の7蔵元からそれぞれ1銘柄、7つの焼酎の利き酒大会が行われます。



12月

サイテク祭

多良木町青少年育成会議主催による子どもたちのための科学と技術の祭典です。工夫を凝らした実験やロボット操作体験ができます。

秋



祭りにぎわう町

町中心部にある商売繁盛や健康と幸福をもたらすといわれているえびす様を祀る恵比須神社の大祭が毎年10月20日・21日に盛大に行われます。20日に行われる町内パレードでは十数基の神輿が所狭しと練り歩き、祭を盛り上げます。



11月

スカイフェスタ

妙見野自然の森展望公園では毎年パラグライダーの大会が開催され、各地から愛好家が集まって技を競い合います。



11月

たらぎ農林商工祭

商工会、森林組合、J A、町が連携して開催しています。プロ芸能ショーや丸太早切り大会などの催しのほか、農産物品評会や多くの出店で賑わう、町内最大級のイベントです。



10月

球磨拳世界大会

球磨拳は、江戸時代、参勤交代による江戸勤めの人吉武士の間で広まったといわれる拳遊びです。こどもの部と一般の部に分かれ、それぞれに熱い戦いが繰り広げられます。



①



②



③



④



⑤

面積の約 80%が森林の多良木町は、その名のとおり良い木が多い町で、林業は農業とともに町の基幹産業のひとつとなっています。

生産される木材は、住宅の柱などの建築用材など様々な用途で利用される他、生産過程で出た端材はチップ状に粉碎され、木材乾燥機や「えびすの湯」で使用する給湯器のボイラーの燃料として利用されています。

- ①林業従事者による適切な管理あってこそ森林資源は活かされます。
- ②原木しいたけなどの林産物も生産されています。
- ③④製材した木材を燻煙乾燥で木の本来の良さを引き出します。
- ⑤えびすの湯の燃料庫にチップを搬入する様子。



②



①



③

人吉球磨を流れる球磨川とその流れを取り込む百太郎溝と幸野溝は、この人吉球磨の土地を潤します。豊かな水利と肥沃な土地の恩恵を受け、古くから農業は町の基幹産業です。

①②良質で美味しいお米が生産されます。学童の田植えや稲刈り体験は、食の大切さを学ぶとともに次代を担う人材育成にも繋がります。

③④施設園芸も盛んに行われ、メロン、いちご、きゅうり、ナスなど多くの野菜が生産されています。

⑤豊かな自然の中で飼育された黒毛和牛は、多くのコンクールでも上位入賞等、優秀な成績をおさめています。



⑤



④



①～③多良木町総合防災訓練の様子。
 ①消防団による被災地の確認。
 ②避難者受付訓練。
 ③プールの水を飲料水に変える装置の操作説明を受ける様子。
 ④消防出初式の放水競技の様子。
 ⑤多良木町消防団は、平成 25 年度に消防庁長官表彰旗受賞、平成 26 年度に日本消防協会会長表彰旗受賞、平成 27 年度に熊本県消防協会から最高栄誉賞のまといを受賞。
 ⑥⑦多良木町には女性消防隊が結成されています。



株式会社ナビック熊本工場
 洋服のタグやプリントネームに特化した印刷会社です。



宮本電機株式会社
 精密電子部品の生産と、情報通信機器の施工・販売サービスを事業としている会社です。



株式会社川金ダイカスト工業熊本工場
 アルミダイカスト、ナノキャストによる部品製造・金型設計の会社です。



えびす物産館
 町内で採れた新鮮な野菜や美味しいお惣菜、木工芸品などが並びます。お惣菜やお菓子など手作りの味も人気です。



球磨焼酎の製造
 特産品の球磨焼酎製造元は町内に 7 蔵あります。昔ながらの製法で作られているものや、整った生産設備による大量生産など方法は様々ですが、それぞれにこだわった個性的で味わい深い焼酎が製造されています。



平成 25 年 8 月、民設民営での光ブロードバンドサービスの提供が開始されました。
 これにより、都市部との情報格差が是正され、今後はこの強みを活かして IT 企業を中心とした企業誘致を行っていきます。



①



②



③

いのちのリレー

緊急時の連絡先・かかりつけ医・病歴等の心身状態を把握し、いざという時に即座に連絡が取れる体制づくりをしています。

長寿年金

満 80 歳以上の長寿を祝し、長寿年金を給付しています。



④

- ①介護予防「筋力アップ教室」。
- ②介護予防「フラワーアレンジメント」。
- ③講習を受ける健康応援隊の皆さん。
- ④認知症の方が住みなれた地域で安心して暮らしていくことを目的として行われる認知症の方への声掛け訓練の様子。
- ⑤地域の困り事や解決策を話し合う「地域包括ケア会議」。
- ⑥住民健診の様子。
- ⑦幼児歯科検診時のフッ素塗布の様子。



⑤



⑥



⑦



多良木町では、町内に5つの保育園があります。食育や自然の中での遊びを通し、情緒豊かな子供たちが育まれています。

また、出生祝い金の贈呈、病児・病後児保育事業、小・中学校の給食費を半額助成や、18 歳までの医療費無料を行い、子育て世帯の負担を軽減など子育てしやすい環境づくりに努めるとともに、次代を担う子供たちを地域の宝として地域ぐるみで見守りを行っています。

出生祝い金

- 第1子・第2子出産の場合
・・・10万円
- 第3子出産の場合・・・15万円
- 第4子出産の場合・・・20万円
- 第5子出産の場合・・・25万円





①



②



③



④



⑤



⑥



⑦

- ①健康づくり「百太郎駅伝」では、子どもから大人まで健脚を競い合います。
- ②生涯学習「書道教室」指導の様子。生涯学習では、様々な学習メニューがあり、自発的な学習の場を提供しています。
- ③放課後子ども教室では、子どもたちの安全・安心な居場所をつくり、地域の方の協力を得て様々な活動を行っています。
- ④国指定重要文化財の太田家住宅では、本物の昔体験を提供します。
- ⑤サイテク祭は、球磨人吉最大の科学の祭典です。
- ⑥町子ども会では、校区を越えた子ども達の交流の場を提供しています。
- ⑦古代の風黒の蔵では、町の歴史を解き明かす事業を展開しています。



①



④



③



②

- ①多良木中学校の英語の授業。
- ②地産地消の学校給食。
- ③きれいな環境を守るうえで重要な森林の役割などを学ぶ森林教室。
- ④花の栽培活動を通して思いやりの心を育て、広げることを目的とした「人権の花」運動にも取り組みました。
- ⑤環境に対する意識の高揚を図るため、ボランティア活動も行っています。
- ⑥小学校の運動会の様子。



⑥



⑤



12名の議員で構成されており、年4回の定例会議と必要に応じて召集される会議が開かれます。議会は、総務産業、厚生環境文教の2つの常任委員会と、特別委員会が設置されています。

町民の代表として、行政の運営チェックをはじめ予算や条例などを審議して議決するなど町の議決機関としての機能を果たしています。



副 議 長
林田 俊策



議 長
村山 昇



厚生環境文教常任委員会による現地視察。



町民一人ひとりの行政に対する要望や意見をしっかりと把握し、少子高齢化・人口の減少などさまざまな課題に長期的なビジョンで対応していきます。効果的な財源の配分や経費の節約による財源の健全化を進めるほか、職員の資質向上を図り、誰もが住みよいまちづくりを目指していきます。



教 育 長
佐藤 邦壽



副 町 長
島田 保信



町 長
吉瀬 浩一郎



平成 22 年 2 月 22 日、多良木町は北海道南幌町と姉妹町締結を行い、以降、交流を深めています。





この町章は、「夕」の字を図案化したもので町民の融和と団結を表し限らない躍進をする、さわやかな多良木町を象徴するものである。
(昭和 48 年制定)



町花「百太郎ツツジ」
(昭和 60 年制定)



町木「ケヤキ」
(昭和 60 年制定)

町民憲章

緑と清流、文化遺産と人情豊かな田園の里多良木町に、
誇りとするこびをもち町民総意による、
明るく住みよい活力ある町づくりのために、
この町民憲章を定めます。

一、私たち町民は、住みよい環境づくりにつとめます。

一、私たち町民は、心身の健康づくりにつとめます。

一、私たち町民は、教養の高い人づくりにつとめます。

一、私たち町民は、歴史と文化の郷土づくりにつとめます。

一、私たち町民は、活力ある産業づくりにつとめます。



多良木町民体育館
住所 多良木町大字多良木 1467-3
電話 0966-42-4040 (あいあいスポーツクラブたらぎ)
0966-42-1267 (教育振興課社会教育係)



多良木町武道館
住所 多良木町大字多良木 1471-1
電話 0966-42-4040 (あいあいスポーツクラブたらぎ)
0966-42-1267 (教育振興課社会教育係)



多良木えびす物産館
住所 多良木町大字多良木 1534-4
電話 0966-42-1109



旧白濱旅館
住所 多良木町大字多良木 883
電話 0966-42-1267 (教育振興課社会教育係)



上球磨消防組合 消防本部
住所 多良木町大字多良木 3146-1
電話 0966-42-3181 FAX 0966-42-2547



球磨郡公立多良木病院
住所 多良木町大字多良木 4210
電話 0966-42-2560(代) FAX 0966-42-6788



多良木警察署
住所 多良木町大字多良木 3094-1
電話 0966-42-4110



多良木町世代間交流グラウンド
住所 多良木町大字多良木字下鶴及び新地の球磨川堤外地
電話 0966-42-1267 (教育振興課社会教育係)

